



ホコケンの活動内容: 3つの「創る」という行為

チームづくり

・仲間を集めて組織をつくる(産官学民の連携)

ものづくり

・歩行を補助する道具をつくる(まちなかカート)

楽しみづくり

・歩く楽しみをつくる(価値の社会発信)

ホコケンの成果: 人もまちも元気になった

- ・カートステーションの設置(富山市)
- ・歩行車の製品化・販売(三協立山株式会社)
- ・地区長寿会の活性化(星井町地区)
- ・地域活動を学んだ学生の輩出(富山大学)
- ・まちなかの賑わい創出の一助
- ・歩行補助車を使ってまち歩きを楽しむ高齢者

課題: まちなかカートがある風景を創るために

カートの電動化

・高齢者の身体状況やライフスタイルは加齢とともに変化する。変化に対応するようにカートをカスタマイズする。

カートへのアクセス

・購入や利用の仕方について検討する(販売価格、レンタルの方法、シェアリングの方法、等)。
・カート導入について相談やアドバイスをする人を増やす。

効果の測定

・効果を客観的指標で示す(走行データ、健康度)。

活動拠点の維持

・地域実装には5~10年の期間がかかる。中長期の活動を担保する活動拠点が必要(研究会の企業化・法人化)。